阿武急密着新聞

平成二六年八月二三日発行
山岸川光志

阿武隈急行の歴史

1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014

・四月五日、国鉄丸森線を引き継いで阿武隈急行株式会社設立。
・十二月二十四日、福島から丸森間免許申請。

・二月二十七日免許交付。工事施工認可申請。
・三月二日工事施工認可。既設区間の電化および未成区間の建設工事再開。

初の交流専用電車8100系を製作。

▼交流専用電車8100系

七月一日、国鉄からの転換により槻木から丸森間を非電化で暫定開業。東北本線（JR）の槻木から仙台間に乗り入れ。

七月一日、福島から丸森延伸。全通全線を交流電化し、東北本線（JR）と相互直通運転開始。それにともない、当時民鉄では最

三月十五日、東北本線（JR）郡山から福島間の乗り入れを中止。

・三月十一日、東日本大震災。全線で運転見合わせ。
・四月八日、梁川から保原間で運転を再開。無料で臨時列車を運行。
・四月十三日、梁川から富野間で運転を再開。サービス列車の運行で運賃は無料。
・四月十八日、福島から保原間で運転再開。
・四月二十一日、福島から瀬上間で運転を再開。
・五月十六日、富野から丸森間で運転再開。全線で運転再開。

▲乗務員室の前。

▲8100系電車の車内。

▼福島駅。阿武急と福島交通の2つの会社で1つのホーム

お客さんの声

これからおはか参りに行くという人に聞きました。
「はい。一年に一度おはか参りに行くんですけど阿武隈急行はおはかに行くのに欠かせない足ですね」とおっしゃっていました。
やはり阿武隈急行は人にとってなくてはならないそんざいなんだなと思いました。

福島駅の駅長さんに聞きました。

▲今村駅長さん

お客さんにどのような心がけや思いやりをしていますか。

年配の方には、荷物を持ってあげたり、駅を訪れる人々には、あいさつをしています。するとあいさつを返していただいたり、「ありがとう」とかんしゃされたりしています。やはり阿武隈急行は、お客さまに支えられている会社なんだと思います。

歴史について聞かせてください。

昔は福島から郡山まで4両で走っていましたが、JRさんと重なるので廃止になり、福島駅のホームが西側から東側にい動し、福島交通さんのホームに入ってきました。

列車

列車は、8100系とA417系があり、8100系は、昭和63年7月1日に運行開始。阿武隈急行のたいだいがこの電車を使っている。
A417系は平成20年10月30日に運行開始。JR東日本より東北本線で使用されていた417系を譲受。しばらくは平日朝夕の特定の運用につく。

▲8100系電車（イラスト）

▲A417系電車3両で走っている
▲阿武急のマーク
▼8100系電車

【編集後記】

この「私とみんなの小学生新聞コンクール」に参加して、阿武隈急行のこともよく知れたし、お客さんや働く人の力で会社は支えられ、成り立っていくということが分かりました。
なお、今村駅長さん、御協力いただきました関係各位に対し厚く御礼申し上げます。

福島 — 卸町 — 福島学院前 — 瀬上 — 向瀬上 — 高子 — 上保原 — 保原 — 大泉 — 二井田 — 新田 — 梁川 — やながわ希望の森公園前 — 富野 — 兜 — あぶくま — 丸森 — 北丸森 — 南角田 — 角田 — 横倉 — 岡 — 東船岡 — 槻木

福島県 | 宮城県

阿武隈急行停車駅